

## ヒーローショーでECOアピール 朋優学院アトラクション部の活動を紹介します

約2万人を動員する品川区主催のエコフェスティバル。毎年このイベントで、朋優学院アトラクション部のヒーローショーが行われています。今年のエコフェスティバルでも、写真のエコレンジャーが登場！子供達の喝采を浴びました。

朋優学院アトラクション部。創立25年以上、プロも輩出する伝統の部です。今回、高校にお邪魔し、練習風景を取材させていただきました。



卒業生でもあるプロのコーチから指導を受け、練習に熱が入ります。格闘シーンの練習は、まるで空手部です。部員の大半が女の子であるにも関わらず、みんな勇ましい限りです。日々の地道な練習の積み重ねが、ショーの完成度を高めていることを実感しました。

発表の舞台は、エコフェスティバルと文化祭。その他は年に4回以上、区内幼稚園にて環境ヒーローショーを行い、環境教育のお手伝いをされています。台本、衣装など、全て部員たちの自作です。



環境を題材にしたショーをすることで、部員の方々自身の意識も変化し、いっそう環境に気を配れるようになったといいます。ゴミの分別やリサイクルなど、地域のお手本となるように振舞っているそうです。

環境への取り組みと、ヒーローショーへの熱い思いに、取材をしている私まで清々しい気分になりました。アトラクション部のみなさんのさらなる活躍に期待しましょう。

## 環境講座「昆虫ふしぎ探検隊」レポート

応募者多数のため抽選となった環境情報活動センター主催の人気講座「昆虫ふしぎ探検隊」が、7月7日(土)、林試の森公園にて実施されました。講師はNPO法人生態教育センター副理事の藤本和典先生。ただ見るだけの自然観察ではなく、五感を駆使した「自然観察」をしようというのがこの講座です。五

感をフル稼働させ、昆虫を探します。子どもたちが昆虫を見つけると、その昆虫の名前から生態まで、先生の詳しい解説が入ります。

この日は、アオスジアゲハ、コシアキトンボ、ウスバカマキリ、アオコガネなどを発見。身近な公園にたくさんの生き物がいることに、参加者は大いに興味していました。



## 環境情報活動センター 今後のイベント予定

**「世界に一つの花びんをつくりませんか？」**  
素焼きの一輪挿しに、文字入れ・絵付けをして、オリジナルの花びんをつくりましょう。  
日時 / 8月1日(水)～8月31日(金)  
10時～16時 材料費 / 無料  
毎日先着10名様(直接、センターにおこし下さい)  
引渡し日 / 10月1日(月)以降  
なくなり次第終了です！



**「山野草 秋の寄せ植え」**  
生活に緑を取り入れ、山野草が創り出す静寂の趣きを味わいませんか。野菊・りんどう等を寄せ植えします。  
日時 / 9月27日(木)13時半～15時半  
講師 / 伊藤金美(園芸研究家)  
定員 / 20名  
材料費・保険料 / 530円  
締め切り / 9月11日(火)

**「ピオガーデンを設計しよう！」**  
上手に緑を選んで、庭やベランダに、鳥や昆虫・蝶たちが遊びに来る「ピオガーデン」を作りましょう。  
10月13日(土)14時～16時  
講師 / 藤本和典(NHKラジオこども相談員) 定員 / 30名  
材料費 / 200円  
締め切り / 9月28日(金)

この応募方法は、往復ハガキに希望の講座、講座日時、住所、氏名、年齢を書いて環境情報活動センターまで送って下さい。ホームページからのご応募できます。申込み多数の場合は抽選になります。

**しながわECOだより2007年夏号**  
発行：品川区環境清掃事業部  
編集：特定非営利活動法人エコタウンしながわ  
発行日：平成19年8月10日  
住所：〒140-8715  
品川区広町2-1-36  
品川区環境活動センター内  
TEL/FAX：03-5742-6533  
E-mail：center@shinagawa-eco.jp  
HP：http://shinagawa-eco.jp/

見上げた空がグリーンであるよう  
今できる一粒の種をまこう



～品川区環境情報活動センターだより 2007年夏号～

## 区内をくまなく歩いて ECOの種発見！ 環境記者 活躍中！

環境情報活動センターでは、環境記者になっていたばかりの区民の方々を募集しています。現在22名が登録されています。主婦の方、写真が趣味の方、植物に造詣が深い方、企業で環境への取り組みを推進されている方、町会や自治会などで活動されている方など、様々な方がいらっしゃいます。この方々から、区内の環境に関する情報・記事が日々寄せられています。ホームページで公開しているものの中から、一部記事を抜粋してご紹介します。

**ジャコウアゲハの産卵**  
平成19年6月20日(水)  
場所：勝島運河



運河の土手でジャコウアゲハを見つけました！  
“どこかにとまったら写真が撮れるなあ...”と思っていたら、ウマノスズクサにとまり、なんと！産卵を始めました！1mm位の赤くてカワイイ卵でした。



吉仲理恵 記者  
小学生の男の子を子育て中のお母さん。「身近な自然を大切に」という思いから、様々な活動をされています。

**トゲノコギリガザミ**  
平成19年7月1日(日)  
場所：京浜運河



品川区の海にも、こんな大きなカニがいました。大きさは足まで入ると30cmもあります。

このカニ、普通は浜名湖以南に棲んでいるのですが、東京湾奥で見つかるのは珍しいと思います。運河で見つけたのは、今回を含めて3回目となります。今、運河の水は少しずつきれいになって、海の生き物も増えつつあります。

青野良平 記者  
30年にわたり、京浜運河の貝の調査をライフワークとしてきた青野さん。ご自身のホームページも公開されています。(http://members12.tsukaeru.net/aono/)

**命のあさがお大作戦**  
平成19年7月5日(木)  
場所：西大井駅前



杜松小学校では「命のあさがお大作戦」と題して、5月から1年生が種を蒔き、朝顔を育てることを通して、命の大切さ、すばらしさを学んできました。7月5日、梅雨の晴れ間の西大井駅前、自分た

ちで育てた朝顔の花苗を地域の方々に配り、「街中を花でいっぱいしましょう」と呼びかけました。道ゆく人たちは花苗を嬉しそうに受取っていました。

内田雅弘 記者  
自身の足と自転車で区内をくまなく回り、収集したたくさんの情報をセンターに持ち込んでくださる内田さん。公園や街中、路地で咲く花々の写真を撮りまとめた「しながわの花便り」なども提供していただいています。

環境記者・情報交換会



6月30日土曜日、9名の環境記者が集まり、情報交換会が行われました。特別顧問に「グラフしながわ」元編集長の佐山吉孝さんをお迎えしての開催です。難しく考えがちな環境問題ではあるけれど、何を快

適と感じるかという、自分の身体感覚に近いところの環境という概念から、まずは大事にしていこうではないか、と佐山氏は言います。その上で「パチが当たる」「我慢する」「もったいない」「互いを思いやる」など、日本人が当然の感覚として身につけているものが、クールジャパンとして世界から尊敬されていること、日本の美徳として再認識すべきことを指摘されました。

その後、「水の記憶」と題して、品川用水の面影を残す西大井近辺の町並みを、佐山さんご自身が撮影した写真のスライドを用いて解説。記者たちは水が日常生活に溶けこんでいた時代へと思いを馳せました。



環境に関することなら何でもOK!年齢制限・応募資格なども一切ございません。記者の方から提供していただいた記事や写真は環境情報活動センターのホームページや情報紙等に掲載していきます。また、年に4回、記者が集まって情報交換会を開催します。興味のある方はセンターまでご連絡下さい。

ゴミゼロサークル始動!

~使い古した布を裂いて  
ぞうりを作ろう~



平成19年6月23日、環境情報活動センターで「環境リサイクル講座～さき布から“ぞうり”を作ろう～」が行われました。布ぞうりブームも手伝ってか、20名の定員になんと420名が応募するという人気講座に。当日は、新宿環境リサイクル活動の会から講師を迎え、受講者たちが熱心に布ぞうりを作りました。現在はこのメンバーたちが中心となって、サークルとして活動を始めています。



現在、布ぞうりのサークルメンバーは25名。月1、2回活動を行っています。熟練した方たちは、すでに講師となってメンバーの指導に。

このサークルの目標のひとつは「ゴミを出さない」こと。古い布や服を活用するだけでなく、切り裂いた小さな布も大切に織り込んでいきます。

また、もうひとつは物を大切にするという日本人のよき文化を育てていくことです。「母のその母の代からのゆかたが、たんすでたくさん眠っています。何とか生かしたい。布ぞうりとして再生させたいんです。」という声もいただいています。

布ぞうりの制作だけを目的にするのではなく、そこから物を大切に作る心や、リサイクルに対する関心が高まってくるようセンターでは支援していきたく思います。

「布ぞうりを作ってご近所に差し上げたら、この服も裂いて使ってと言ってくれました」という受講者の方もいらっしゃいます。少しずつ、交流の輪がひろが

り、リサイクル全般に対する意識が高まっているようです。

今後、受講者の熟練した方については、講師として登録してもらい、センターから派遣したり、センター内でも講座を開催していく予定です。お楽しみに。



蝶の道プロジェクト

中間報告!

今年4月に始動した『蝶の道プロジェクト』。各地域で食草の苗木や花を植え付け、すでに「幼虫やさなぎを見つけた!」「ナミアゲハが飛んできた!」といった報告をあちこちから受けています。

そんななか7月11日には、鮫浜小学校で「蝶の道」特別授業が行われ、「NPO法人エコタウンしながわ」の南孝彦さんが、3年生の子どもたちを前に蝶や花など生き物の住む自然環境の話をしました。その後、学校の畑に行き、蝶の好きな草花などについて調べました。虫好きの子どもたちの中にはむずかしい質問を熱心にする

姿も。講師の南さんは「食草を植え、幼虫やさなぎを観察する。こうした体験を通して、自然の不思議さや命の大切さを実感してもらえればと思います」と語っています。秋には蝶の観察会も予定、ますます関心が高まってくるでしょう。

品川区の各地域で蝶の道プロジェクトを展開中です。より詳しい情報はホームページ[http://shinagawa-eco.jp/mt\\_bt/](http://shinagawa-eco.jp/mt_bt/)をご覧ください。

また皆様からの情報や写真も募集中です。E-mail: chou-no-michi@shinagawa-eco.jpまでお願いします。

南孝彦さんのチョウの話は、鮫浜小学校のほかにも行っています。また、10月から毎日小学生新聞で連載される予定です。こちらもお楽しみに。



南さんの話を熱心に聞き入る子どもたち



ツマグロヒョウモン

食草園を見に行こう!

<食草園一覧>

- 品川清掃工場・品川火力発電所・中央海浜公園・しながわ花海道・八潮団地・大井第一小学校・鮫浜小学校・立会小学校・第四日野小学校・浜川小学校・八潮小学校・浜川中学校・二葉幼稚園・ゆたか保育園・後地児童センター・大井倉田児童センター・水神児童センター・滝王子児童センター・三ツ木児童センター・ゆたか児童センター……

各施設に連絡してから行ってね!(一部入れないところもあります。)

書評コーナー



『地球はえらい』  
案：城雄二  
文：香原知志  
絵：松岡達英  
福音館書店  
(本体1,200円+税)

地球が誕生して以来、数え切れないほどの種類の生き物が、この星で生まれ、育ってきた様子が描かれています。地球があるから人間も生きてこれました。「地球はえらい、地球はすごい、だからこそ地球の自然や生き物を大切にしなければ」という思いを子どもたちに芽生えさせてくれる絵本です。



『地球のなおり方 限界を超えた環境を危機から引き戻す知恵』  
著者：ドネラ・H・メドウス  
：デニス・H・メドウス  
：枝廣淳子  
ダイヤモンド社  
(本体1,200円+税)

近年、環境問題解決への取組みが活発に行われていますが、一つ一つの問題に対して個別に対応しているだけでは、必ずしも根本的な解決には至りません。なぜなら、一見無関係に思える様々な問題も、実は相互に関連しあっているからです。この本では地球環境全体を大きなシステムと捉え、そのシステムとどのように向き合っていくべきかを説いています。ちょっと難しく思うかもしれませんが、かわいいイラストとともに、じっくり丁寧に解説しているので、新たな視点を持つためのキッカケの一冊としてみてはいかがでしょうか。